

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年7月18日
【会社名】	オンコセラピー・サイエンス株式会社
【英訳名】	OncoTherapy Science, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山本 和男
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
【電話番号】	044-820-8251
【事務連絡者氏名】	管理本部 高瀬 由美子
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
【電話番号】	044-820-8251
【事務連絡者氏名】	管理本部 高瀬 由美子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成29年7月11日に開催された取締役会において特定子会社の異動に係る決議をいたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

また、平成29年7月11日に開催された取締役会の決議により、当社及び当社連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与え得る事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

イ 当社及び当社連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与え得る事象の発生年月日
平成29年7月11日

ロ 当社及び当社連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与え得る事象の内容
以下のとおりです。

当社は、平成29年7月11日に開催された取締役会において、がん遺伝子の大規模解析検査ならびにがん免疫療法の研究開発を行う子会社として、株式会社Cancer Precision Medicine（以下「CPM社」という）を設立することを決議いたしました。CPM社に対しては、グローバルなゲノム・トランスクリプトム・エピゲノム等の次世代シーケンス解析サービスを行っているTheragen Etex Co., Ltd.（本社：韓国、CEO：Tae Soon (Samuel) Hwang、以下「TE社」という（1））が資本参加・業務提携することを決定していることからCPM社は、当社とTE社との合併会社となります。また、同取締役会において、当社の事業部門であり、オンコアンチゲン（2）をはじめとしたがん免疫療法の研究開発、及び最先端の取組みとして次世代シーケンサーを用いてT細胞/B細胞受容体の解析サービスを行っている腫瘍免疫解析部については、会社分割（簡易分割）をし、CPM社に事業を承継させることについて決定しましたので、お知らせいたします。

また、会社分割手続き完了後に、当社はCPM社の第三者割当増資により株式を追加取得し、TE社はCPM社の事業に関連するソフトウェアライセンスの対価として、当社からCPM社の同数の株式を譲り受け、全手続き終了後のCPM社の持分比率は当社64%、TE社36%となります。

なお、本会社分割は簡易会社分割で、当社の総資産の増加または減少額がその直前事業年度の末日における純資産額の10%未満、かつ、当社の売上高の増加または減少額がその直前事業年度の売上高の3%未満であると見込まれます。

1．当該子会社の設立・資本業務提携契約の締結・会社分割（簡易分割）の目的

当社は、がん免疫療法の研究開発、及びこれまで研究用途で実施しているTCR/BCR解析事業の臨床用途に対する事業に加え、本格的なゲノム解析事業、リキッドバイオプシー事業（3）、ネオアンチゲン（4）開発事業を実施する子会社としてCPM社を設立します。

がんは遺伝子の異常により引き起こされる病気です。がん細胞での遺伝子の網羅的な解析は、がんの診断ならびにがん治療薬・治療法を選択するために非常に重要です。この解析を利用して、予防に役立てたり、がん患者さん一人ひとりの遺伝子情報に基づいた治療薬・治療法を選択することや新規の免疫療法につなげていくことを「がんプレジジョン医療」といい、近年、より効果的ながん治療をがん患者さんに提供できる手段として注目されています。

当社の研究開発は、平成13年4月からの東京大学医科学研究所中村祐輔教授（現シカゴ大学教授）との共同研究により出発致しました。当該研究は、各がん種において特異的に発現する遺伝子を網羅的に解析することにより、創薬ターゲットとなるがん関連遺伝子及び遺伝子産物を単離することをベースとしております。当社事業は、より医薬品の開発に近い創薬研究へと拡大しており、低分子医薬、がん特異的ペプチドワクチン、抗体医薬の各領域において、臨床応用を目指した創薬研究を複数のがん種を対象に実施しております。当社は、オンコアンチゲン由来のがんペプチドワクチンによる免疫療法の分野でのパイオニアであり、さらに、国内外において、各提携先製薬企業と共同でまたは当社グループ独自で、第 相から第 相の複数の臨床試験を実施しております。また、がん免疫療法における最先端の取組みとして、次世代シーケンサーを用いてTCR/BCR解析事業も行っております。

TE社はヒトゲノム解析を2009年から、さらにグローバルなゲノム・トランスクリプトム・エピゲノム等の次世代シーケンス解析サービスを2011年から行っており、当社は両社の経験・ノウハウを融合することにより、より治療効果が高く副作用の少ないがん治療薬・治療法をがん患者さんに届けるという当社の企業使命がより加速されると考え、両社の合併企業としてCPM社を設立することといたします。

さらに、オンコアンチゲンやネオアンチゲン等のがん特異的抗原を持つがん細胞を消失させるがん免疫療法は、非常に効果的ながん治療法の1つと考えられており、当社はがん特異的ペプチドワクチンや樹状細胞療法、TCR導入細胞療法等の個別化免疫治療の開発を加速させるために、腫瘍免疫解析部をCPM社に分割譲渡いたします。加えて、TE社は次世代シーケンス解析技術とバイオインフォマティクスに関するノウハウを提供することによってCPM社内に大規模遺伝子解析センターを立ち上げるためにCPM社をサポートします。その大規模遺伝子解析センターにおいて、がん細胞の詳細な遺伝子解析サービスや、血中のがん細胞を早期検出するためのリキッドバイオプシー解析サービスを提供します。

CPM社の設立によって、当社ならびにTE社によるがん遺伝子網羅的解析およびがん免疫分野のシナジー効果が生まれ、がん個別化医療をより加速させることが見込まれます。

(1) TE社：本社韓国 KOSDAQ上場 証券コード：066700（詳細後記4.(4)参照）

ヒトゲノム解析を2009年から、グローバルなゲノム・トランスクリプトム・エピゲノム等の次世代シーケンス解析サービスを2011年から実施しています。

(2) オンコアンチゲン：がん細胞に特異的に発現し、増殖能などがん細胞に必須の機能を有する一方、精巢以外の正常細胞には極めて発現の低い分子で、細胞傷害性T細胞から認識される抗原性を持った腫瘍特異的な標的分子を指します。当社はがん特異的オンコアンチゲンを標的とした、100種類以上のがんペプチドを同定しています。

(3) リキッドバイオプシー：がん患者さんの血液や尿からがん細胞、あるいは、がん細胞由来DNAを検出する、侵襲の少ない検査方法。CPM社は、がんの早期発見やがんの再発・再燃をモニタリングするため、血漿中・尿中に存在するがん特異的変異を持つDNAを測定する方法を確立します。

(4) ネオアンチゲン：がん細胞特異的な遺伝子変異に伴って新たに生ずる変異抗原のことです。当社は既にネオアンチゲンを予測する研究パイプラインを確立し、ネオアンチゲンと免疫チェックポイント阻害剤等のがん免疫療法における免疫反応との関連を調べる研究を進めています。

2. 当該組織再編に関する日程

取締役会決議日	平成29年7月11日
合併会社設立に関する契約締結日	平成29年7月11日
子会社設立日	平成29年7月24日（予定）
TE社によるCPM社株式の払込日	平成29年8月7日（予定）
合併会社事業開始日	平成29年8月7日（予定）
会社分割に関する契約締結日	平成29年10月1日（予定）
会社分割実施予定日（効力発生日）	平成29年11月1日（予定）
会社分割新規記録日（株式交付日）	平成29年11月1日（予定）
当社によるCPM社株式追加取得日	平成29年11月15日（予定）
当社が所有するCPM社株式をTE社に譲渡する日	平成29年12月15日（予定）

当該会社分割は株主総会の決議を要しない簡易分割です。

3. 子会社の設立（特定子会社の異動に関する事項）

（1）当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容等

名称 株式会社Cancer Precision Medicine
住所 神奈川県川崎市
代表者の氏名 代表取締役社長 森 隆弘（予定）
資本金 250百万円（予定）
事業の内容 がん遺伝子の大規模解析検査ならびにがん免疫療法の研究開発
発行済株式数 500株（1株当たり100万円）
決算期 3月

（2）当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数

異動前 - 個

異動後 500個

総株主等の議決権に対する割合

異動前 - %

異動後 100%

なお、当社による当該特定子会社への会社分割、当該特定子会社の株式の追加取得、及びTE社との資本参加・業務提携が実施された後は、当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数は805個、総株主等の議決権に対する割合は64%になる予定です。

（3）当該異動の理由及びその年月日

異動の理由

「1. 当該子会社の設立・資本業務提携契約の締結・会社分割（簡易分割）の目的」に記載のとおりです。

異動の年月日（設立年月日）

平成29年7月24日（予定）

（4）当社との関係

資本関係 当社が100%出資する予定です。

人的関係 当社取締役森隆弘が当該会社の代表取締役を、当社代表取締役山本和男ならびに当社従業員Jae-Hyun Parkが当該会社の取締役を、当社監査役中鶴修一が当該会社の監査役を兼務する予定です。

4. TE社との資本参加・業務提携

（1）TE社との資本参加・業務提携の内容

がん特異的ペプチドワクチンや樹状細胞療法、TCR導入細胞療法等の個別化免疫治療の開発を加速させるために、当社は腫瘍免疫解析部をCPM社に分割譲渡し、TE社は次世代シーケンス解析技術とバイオインフォマティクスに関するノウハウを提供することによってCPM社内に大規模遺伝子解析センターを立ち上げるためにCPM社をサポートする。

目的については1. 当該子会社の設立・資本業務提携契約の締結・会社分割（簡易分割）の目的、日程は2. 当該組織再編に関する日程に記載の通りであります。

(2) CPM社の新株式の第三者割当

TE社はCPM社の発行する新株式の第三者割当を受ける予定です。

1株当たり発行価額	1百万円	
発行株数	150株	
発行総額	150百万円	
払込日	平成29年8月7日(予定)	
割当後のCPM社の株式保有比率	オンコセラピー・サイエンス株式会社	77%
	Theragen Etex Co., Ltd.	23%

(3) CPM社株式の追加発行及びTE社への当該株式譲渡

5. 会社分割に記載の手続き完了後に、当社はCPM社の第三者割当増資により株式を追加取得します。その後、TE社はCPM社の事業に関連するソフトウェアライセンス供与を行い、CPM社に対しての営業債権310百万円を取得します。TE社は、この営業債権を対価として、当社から、当社が追加取得した株式310株を譲り受けます。この手続き終了後のCPM社の株式保有比率は当社64%、TE社36%となります。

1株当たり発行価額	1百万円	
発行株数	310株	
発行総額	310百万円	
払込日	平成29年11月15日(予定)	

(4) 資本参加・業務提携の相手先の概要

(1) 名	称	Theragen Etex Co., Ltd.		
(2) 所	在	58 Sandan-ro 68gil, Ansan Korea, Republic of (South)		
(3) 代	表	CEO Tae Soon (Samuel) Hwang		
(4) 事	業	医薬品の製造販売、遺伝子配列解析サービス		
(5) 資	本	13,917百万韓国ウォン (1,365百万円)		
(6) 設	立	年月日 昭和62年3月16日		
(7) 大	株	主		及
		持		株
		比		率
		Seong-Jin Kim		3.80%
(8)	オンコセラピー・サイエンス株式会社との関係	資本関係	特筆すべき重要な資本関係はありません。	
		人的関係	特筆すべき重要な資本関係はありません。	
		取引関係	特筆すべき重要な資本関係はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
	連結純資産	81,996 (8,043百万円)	75,900 (7,445百万円)	79,020 (7,751百万円)
	連結総資産	125,691 (12,330百万円)	137,926 (13,530百万円)	140,956 (13,827百万円)
	1株当たり連結純資産 (韓国ウォン)	3 (0.29円)	2 (0.20円)	2 (0.20円)
	連結売上高	89,742 (8,803百万円)	98,884 (9,700百万円)	101,283 (9,936百万円)
	連結営業利益	1,488 (145百万円)	2,485 (243百万円)	1,310 (128百万円)
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,598 (156百万円)	8,170 (801百万円)	2,228 (218百万円)
	1株当たり連結当期純利益 (韓国ウォン)	59 (5.79円)	299 (29.33円)	81 (7.95円)
	1株当たり配当金(円)	配当なし	配当なし	配当なし

(単位：百万ウォン(韓国ウォン)。特記しているものを除く。円換算レートKRW100=9.81円)

5. 会社分割

(1) 会社分割の要旨

当該会社分割の方式

当社を吸収分割会社とし、CPM社を吸収分割承継会社とする吸収分割（簡易分割）を行います。

当該会社分割にかかる割り当ての内容

承継会社は、本件会社分割に際して、普通株式305株を当社に割り当てます。

当該会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません

当該会社分割により減少する資本金

本会社分割による資本金の増減はありません。

当該会社分割により子会社が承継する権利義務

承継会社は、当社より、腫瘍免疫解析部に関する資産、負債、契約及びこれらに付随する権利義務のうち、吸収分割契約書に定めるものを承継するものといたします。

債務履行の見込み

本会社分割において、承継会社が負担すべき債務については、履行の見込みに問題がないものと判断しております。

(2) 会社分割にかかる割り当ての内容（(1) - ）の算定の考え方

本件分割に際しまして、CPM社が交付する株式の算定につきましては、当社が腫瘍免疫解析部の資産等をCPM社が事業を行ううえで必要な、解析に関する研究開発ノウハウ等の無形資産を含む資産、負債の時価評価を時価純資産方式によって算定した金額を基礎として、TE社とも慎重に協議のうえ、305百万円と算定いたしました。

(3) 当事会社の概要

	分割会社	承継会社		
(1) 名称	オンコセラピー・サイエンス株式会社	株式会社Cancer Precision Medicine		
(2) 所在地	神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号	神奈川県川崎市		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山本和男	代表取締役社長 森隆弘(予定)		
(4) 事業内容	医薬品の研究開発	がん遺伝子の大規模解析検査ならびにがん免疫療法の研究開発		
(5) 資本金	50(予定)	325(予定)		
(6) 設立年月日	平成13年4月6日	平成29年7月24日(予定)		
(7) 発行済株式数	147,032,000株	650株		
(8) 決算期	3月	3月		
(9) 大株主及び持株比率	中村 祐輔	8.51%	オンコセラピー・サイエンス株式会社	77%
			Theragen Etex Co., Ltd.	23%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績				
決算期	平成29年3月期		平成29年3月期	
連結純資産	10,104			
連結総資産	10,592			
1株当たり連結純資産(円)	65円97銭			
連結売上高	286			
連結営業損失	3,004			
連結経常損失	3,008			
親会社株主に帰属する当期純利益	3,002			
1株当たり連結当期純損失(円)	20円42銭			

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

() 未設立のため、予定額を記載ならびに直前事業年度の実績に関する記載を省略しております。

イ. 分割する部門の事業内容

オンコアンチゲンをはじめとしたがん免疫療法の研究開発、及び最先端の取組みとして次世代シークエンサーを用いたT細胞/B細胞受容体の解析サービス

ロ. 分割する部門の経営成績

売上高 85百万円

ハ. 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格

固定資産22百万円

負債は、該当事項ありません。

(4) 当該会社分割後の状況

		分割会社
(1)	名 称	オンコセラピー・サイエンス株式会社
(2)	所 在 地	神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山本 和男
(4)	事業内容	医薬品研究開発
(5)	資本金	50百万円(予定)
(6)	決算期	3月

		承継会社
(1)	名 称	株式会社Cancer Precision Medicine
(2)	所 在 地	神奈川県川崎市
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森 隆弘(予定)
(4)	事業内容	がん遺伝子の大規模解析検査ならびにがん免疫療法の研究開発
(5)	資本金	325百万円(予定)
(6)	決算期	3月

6. 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の当社の損益及び連結損益に与える影響額は未定です。

以 上